新時代に対応した
高校授業改革推進授業
教科　福祉

令和5年２月７日(火)
宮崎県立門川高等学校
福祉科　新名彩美

新時代に対応したICTを活用した授業

本校福祉科の現状

・３年間を通して、介護福祉士国家試験受験資格を取得するための必須カリキュラム・時間数がある

・クラス内での学力差が大きい。

・現在は１年～３年まで各１２人と少数

・パソコン・タブレットは職員室に保管されており、授業時に借用・使用する。

新時代に対応したICTを活用した授業

本校福祉科の現状

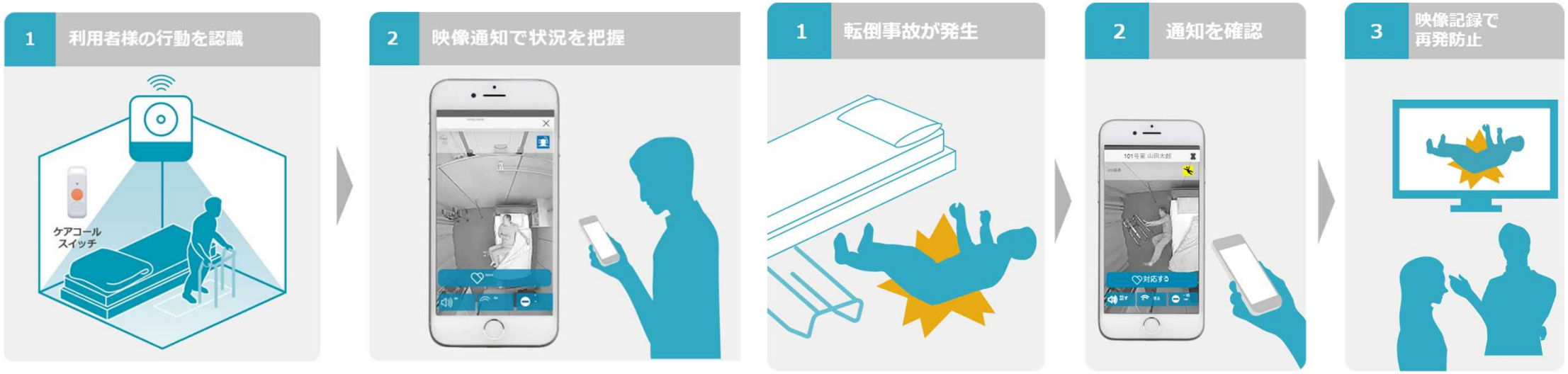
・実習先の介護現場でもICT機器が導入されつつあり、今後の担い手となる生徒に対する期待が大きい

・実習室にスマート介護機器が導入され（R３年度）、環境が整いつつある

・現場でも導入され始めであるため、施設間の差もあり、実習で体験できる生徒は多くない

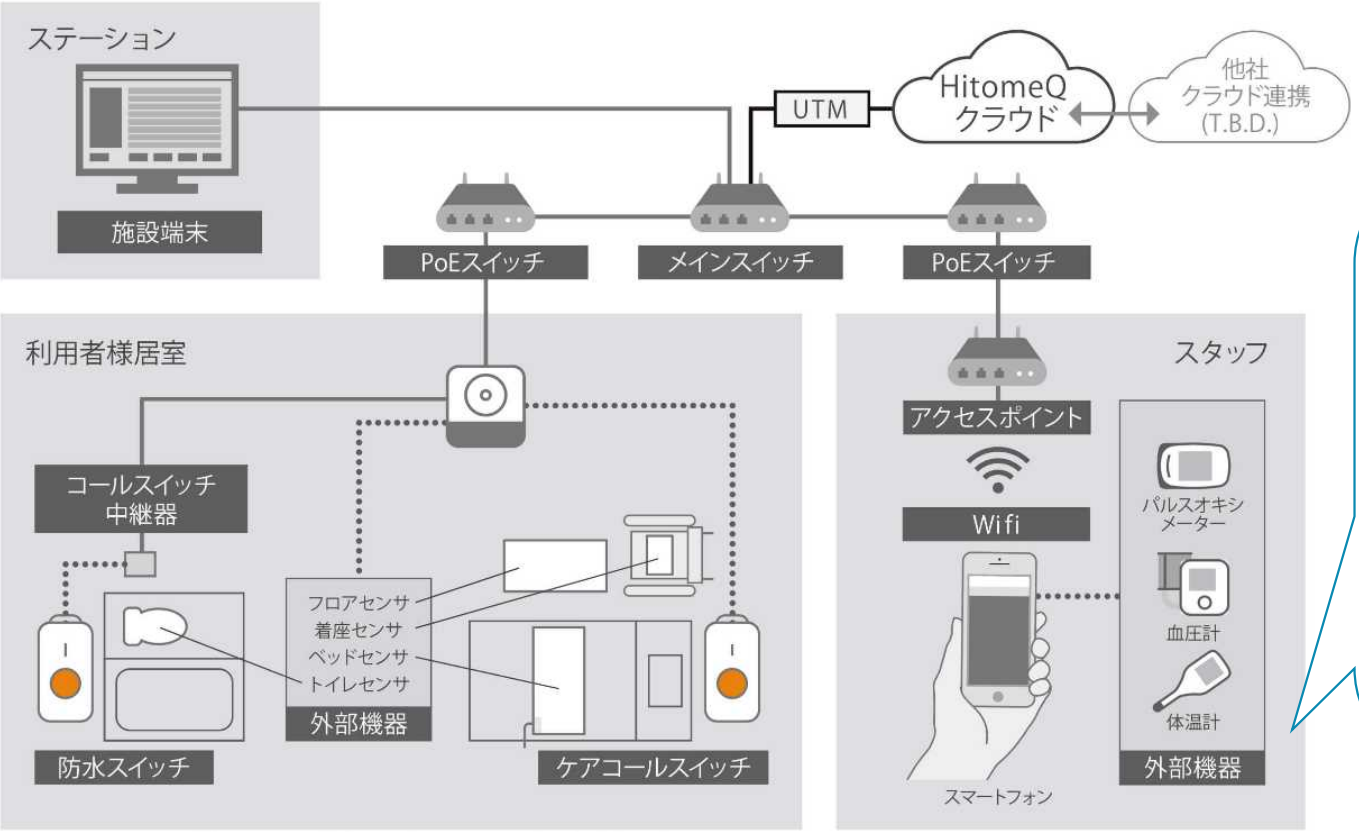
HitomeQ

居室天井に取り付けた行動分析センサーが利用者様の状況を、スタッフ様のスマートフォンへ映像通知。映像から得られる様々な気付きが、スタッフ様の負担軽減や利用者様の自立支援へとつながります。



- https://www.konicaminolta.com/jp-ja/care-support/service/hitomeq-caresupport/

HitomeQ

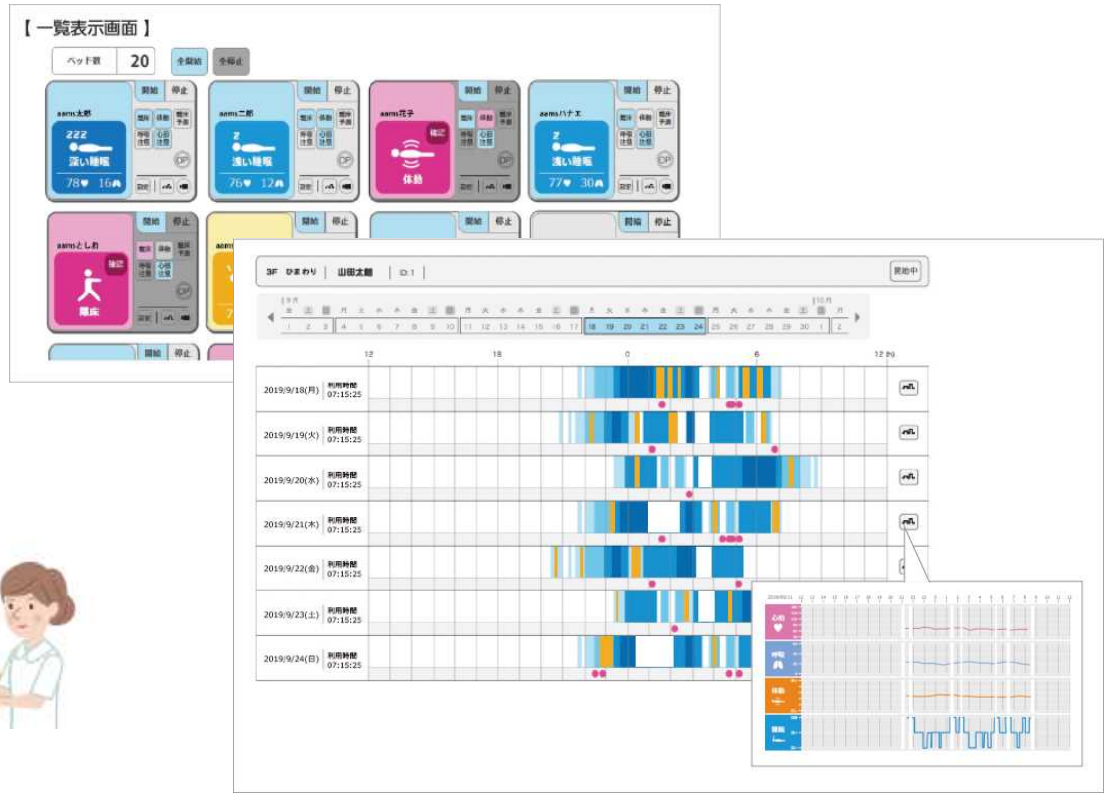


クラウド版の一例です。施設状況に合わせて構築可能です。

計測したバイタルサインをスマートフォンにて登録することにより、情報をすぐに共有することができる

- https://www.konicaminolta.com/jp-ja/care-support/service/hitomeq-caresupport/

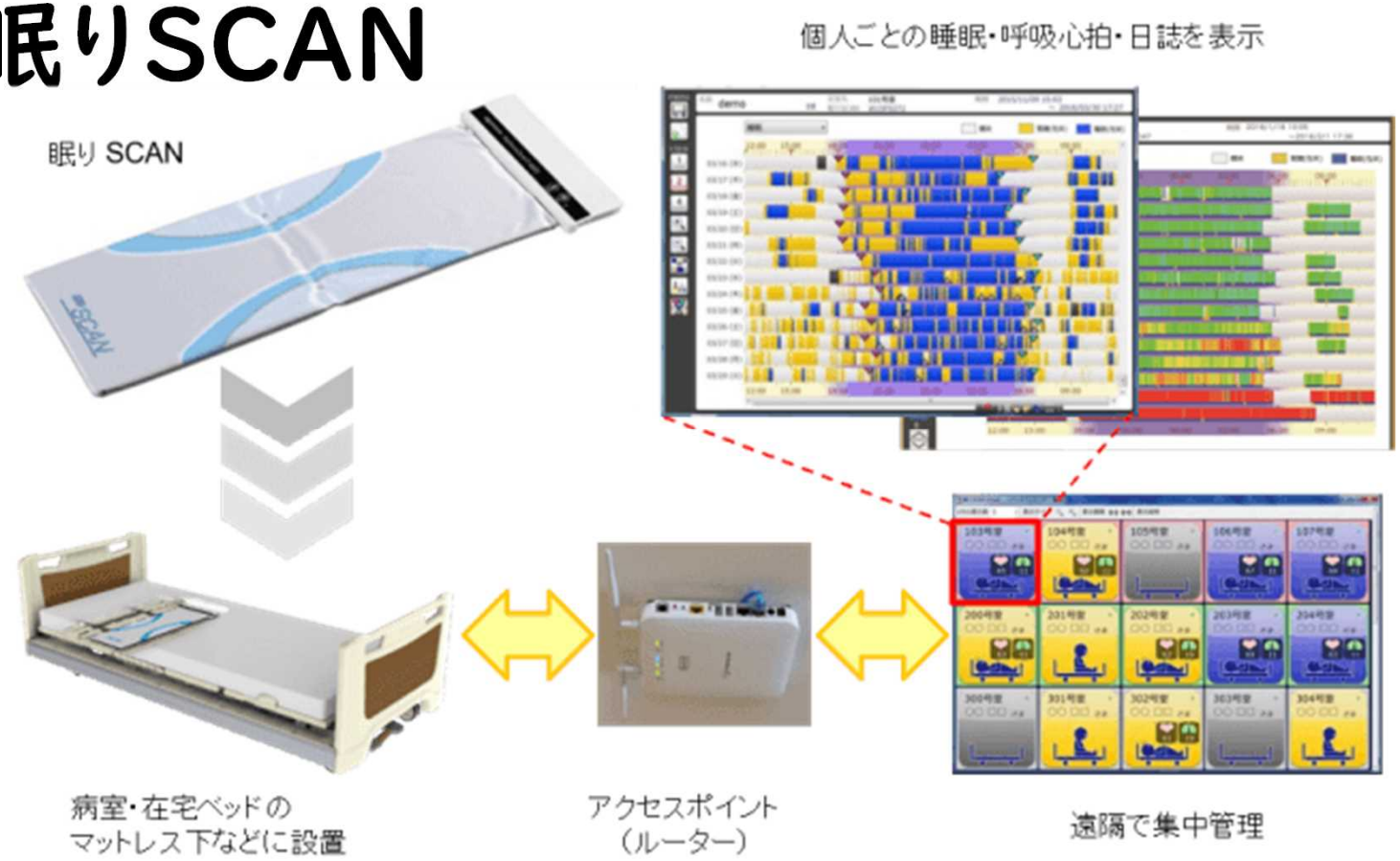
aams



- マットレスの下に設置したセンサーにより、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、ご利用者の状態をパソコンや携帯端末でリアルタイムに確認することができる。

- https://seahonence.co.jp/hp/sensor/aams_characteristic.html

眠りSCAN



- マットレスの下に敷いて人の体動を捉えることで、 睡眠状態に加え、起きあがりや離床・在床を把握できる。
  - https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000135.000021495.html

授業概要

- 科　　目　　生活支援技術　（２年生３単位）
- 分　　野　　睡眠に関する支援
- 対象クラス　　福祉科　２年１組（１２名　男子１名、女子１１名）
- 本時の目標　　利用者の状況に応じた睡眠について、
  データを読み取り考えることができる。
- 使用ＩＣＴ　　学校貸し出しのパソコン（１人１台）
  「眠りＳＣＡＮ」

授業展開

導　入

１　挨拶とＩＣＴ機器の準備

２　ＩＣＴ介護授業の振り返り

３　本時の流れ

〇７月に実施した外部の方によるzoomを用いた講習会の振り返り、介護現場で活用されているICTの使い方やICTを用いる事によるメリットなどの説明について、パワーポイントを用いて振り返りを行った。

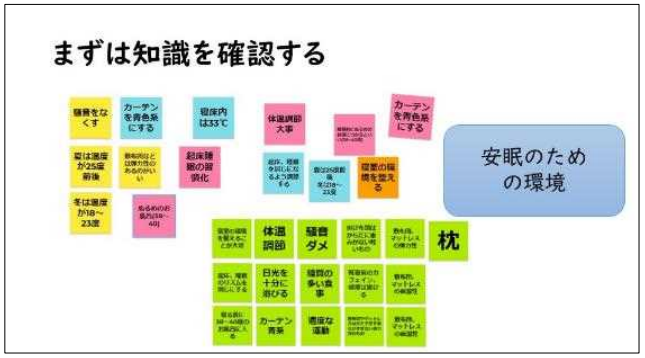
授業展開

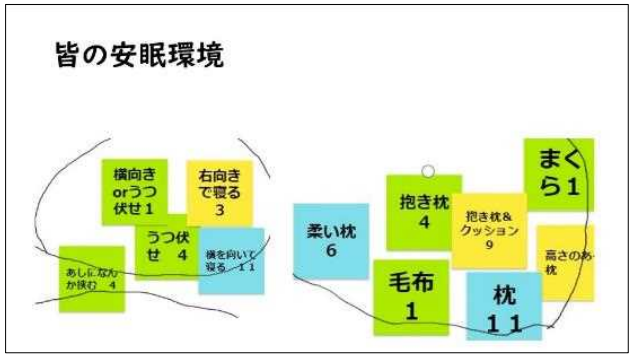
展　開

1　睡眠に関する知識を確認する

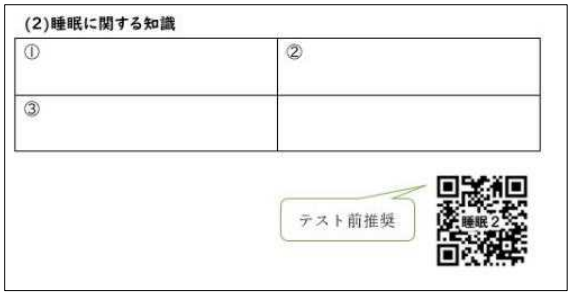
・前回授業で活用したジャムボード資料

・睡眠に関する問題





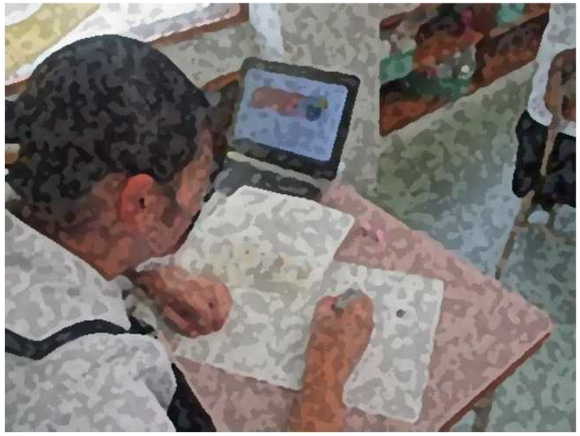
問題提示について
・問題はプロジェクタにて掲示
・解答は挙手とし、正答も掲示する
・復習用として、QRコードを掲載

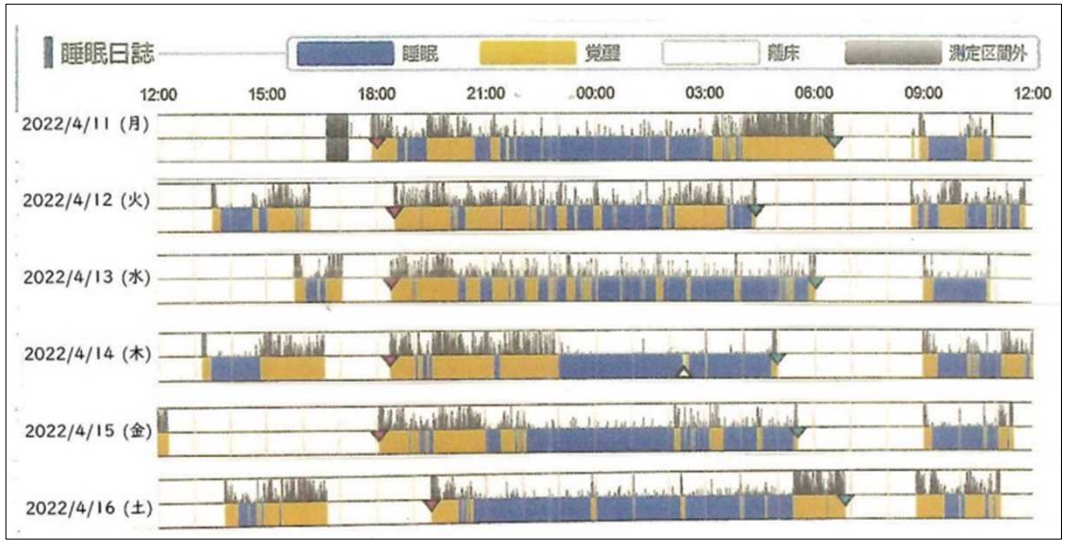


授業展開

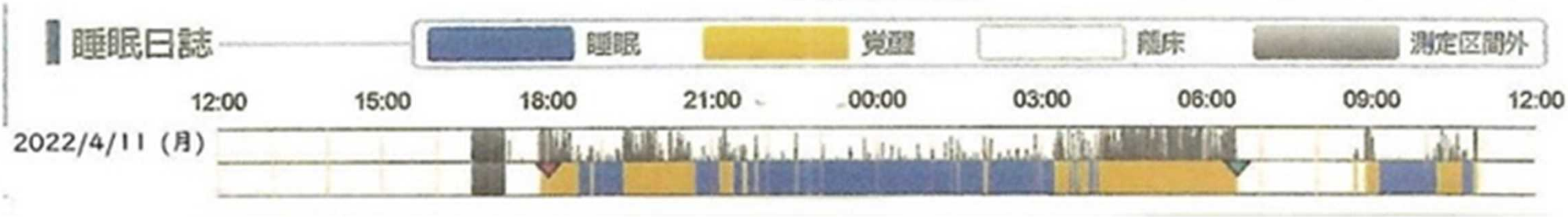
展　開

２　利用者データからの情報分析
　・データを２種類用意
　・データから読み取れる内容を
　　各班ジャムボードに記入





問題１　それぞれの利用者データを読み取る



18時にはベッドにいる

連続睡眠は21時半ぐらいから３時まで

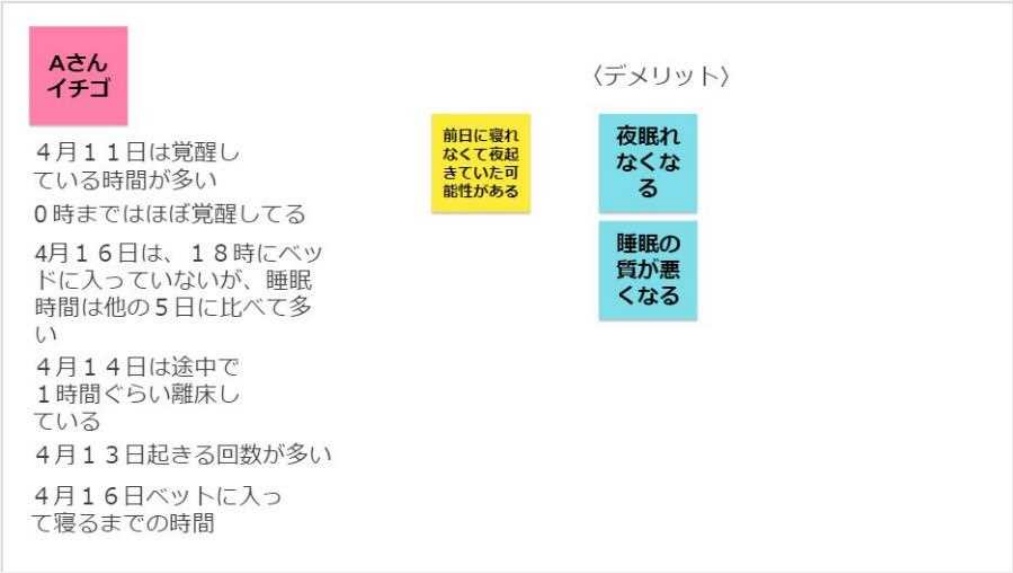
３時からは目覚めて３時間ベッドの上にいる

９時から２時間程度寝ている

授業展開

展　開

３　利用者の状態に応じた対処の検討
　・記入したデータを基に、分析を行う



バナナ　Bさん

長時間睡眠が取れているのが11日約６時間

午前中に運動やレクリエーションをした可能性

4月14日が一番ベットに入る時間が遅い

４月１４日ほとんど睡眠がとれていない

体調が悪く寝れなかった可能性がある。

４月１１日２１時から３時までしっかり睡眠がとれている

しっかり体を動かし疲れた可能性がある。

全体を見てみると、起きてる時間の方が多い

覚醒している時間が長い

睡眠障害になっている可能性がある。

12日は睡眠時間が短い

運動をあまりしていない可能性がある

ベットにいる時間が短い

毎日ベットに入る時間がバラバラ

全体的に睡眠時間が短い

充分な睡眠がとれていない

日によって睡眠時間が異なる

１５日は眠りが浅い

・班の名前を自由に記入
・付箋の色、大きさ、配置に指定はしない
・読み取ること、そこから想像できることを「可能性がある」と表現させた

授業展開

まとめ

1　発表する
・他のグループのジャムボードを見ながら確認する

2　本日のまとめ
・全体を通して学んだ事や感じた事を記入する
・プリントを回収する

授業を終えて

評価

目標

利用者の状況に応じた睡眠について、
データを**読み取り、考える**ことができる。

具体評価

・情報を整理し、ジャムボードに記入することができる
・データを基に、利用者の状況を読み取ることができる
・全体のまとめを、自分の考えを基に記入することができる

授業を終えて

感想等

・打ち込みに時間が掛かり、時間配分が難しかった。

・打ち込むことに必死になっており、授業展開に間に合わない生徒がいた。

・短い文章だと書く力が損なわれていることもある。

・科目「介護過程」との境界が難しい。

・科目「福祉情報」からの積み重ねが必要。

ICT機器を活用した授業

- 科　　目　　生活支援技術　（２年生３単位）
- 分　　野　　医療的ケア　　担当　古賀
- 対象クラス　　福祉科　２年１組（１２名　男子１名、女子１１名）
- 使用ＩＣＴ　　iPad　・　大画面テレビ

ICT機器を活用した授業

①医療的ケアの実技部分を動画で撮影

②大画面テレビに映し、振り返り

今後の課題

- 一人一台に対応した座学面での授業展開の充実
- 教科「福祉」の科目の横断・連携
- 積み重ねた結果が生徒たち自身に実感できる介護実習(施設実習)との連携